

6月定例会の概要

会期 6月2日から6月21日までの20日間

会期中の主な動き

- 議長及び副議長の選挙 ……6月3日
- 委員及び正副委員長の選出（常任委員会、予算特別委員会及び議会運営委員会） ……6月3日
- 関西広域連合議会議員の選挙 ……6月3日
- 特別委員会の開催（人権・少子高齢化問題等対策特別委員会）… 6月13日（防災・国土強靱化対策特別委員会）… 6月14日

6月10日(金)		6月13日(月)	
濱口 太史	秋月 史成	玄素 彰人	鈴木 徳久
川畑 哲哉	奥村 規子	岩井 弘次	杉山 俊雄
6月14日(火)		6月15日(水)	
山家 敏宏	楠本 文郎	森 礼子	林 隆一
中西 徹	片桐 章浩	谷口 和樹	谷 洋一

議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	令和4年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	6件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	可決
人事案件(//)	3件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて等	同意
その他案件(//)	7件	令和4年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
知事専決処分報告(//)	1件	訴訟の提起について	承認
意見書	8件	緊急事態に関する国会審議を求める意見書	可決
		地方における鉄道ネットワークの維持を求める意見書	
		国民健康保険等の第三者行為求償事務の充実・強化を求める意見書	
		地方財政の充実・強化に関する意見書	
		地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書	
		環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	否決
コロナ危機と物価高騰から暮らしと営業を守る緊急経済対策を求める意見書			
		学校給食の無償化を求める意見書	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

子育て支援

問 新型コロナウイルス感染拡大やロシアのウクライナ侵攻による食料の高騰に対し、子供食堂の運営に関して県はどう支援するのか。

答 県では、子供食堂に対して食料を提供してもらえる企業や社会福祉協議会等と、子供食堂との連携を強化するためのネットワークを形成し、支援体制を構築します。また、子供食堂の運営者に対し県の取組を情報提供するとともに、多くの方に子供食堂の活動へ参画してもらえるよう、県民の友等あらゆる機会を通じて周知します。

ヤングケアラーへの支援

問 定時制高校をはじめとする教育現場における県教育委員会の今後の取組はどうか。

答 教職員がヤングケアラーの認識を深められるよう、研修等を充実させます。また、全ての児童生徒を対象としたアンケートに、ヤングケアラーに関する質問を加えることで、児童生徒自身がヤングケアラーについての認識を深めることができるように、学校ごとの状況把握が進みます。その上で、定時制高校については、状況をより詳細に把握して、必要な対応や支援を考えていきます。

学習到達度調査

問 全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査を中止してはどうか。

答 これまでも全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査の結果から、課題を分析し改善に取り組んでいます。今年度より、学習内容の定着状況をきめ細かく把握していくためにも、中学生の県の調査を年2回実施します。一方で、一部業務の委託により教員の負担軽減を図っています。

全国や県の調査は、子供たちの学びを確かめるものにする上で重要であることから、引き続き

実施していきます。

和歌山IR

問 二元代表制の一翼を担う県議会が、IRの議案を否決した事実について、知事の認識はどうか。

答 県当局と議会が車の両輪となつて県政を進めなければならないと考えます。

この二元代表制の下で、互いの機能と役割を尊重し、切磋琢磨しながら県政を推進しており、IR議案の否決は、法律に定める民主的手続によって決定されたものです。

10周年を迎えるインド・マハラシュトラ州との交流

問 インド・マハラシュトラ州への県観光や県産品のPRなど今後の取組はどうか。

答 インド・マハラシュトラ州は大変経済力のある州で、観光や経済をはじめ様々な分野で交流を進めていくことは、本県にとって重要です。また、本県への理解をより一層深めてもらうため、覚書締結10周年を契機に現地語での観光情報や県産品PRに取り組むなど、情報発信力を強化します。

おもてなしトイレ大作戦の徹底

問 おもてなしトイレを「女性バリエーションアップしてはどうか。

答 トイレがきれいというのは、地域の力の一つ、あるいは、重要なインフラと言えます。これによって観光に来る人も増え、その好感度が移住や立地にもつながり、また、市民の文化・スポーツ・レジャー活動にもプラスになります。

今後市町村に対して、誰もが気持ちよく利用できるトイレの整備について、積極的に働きかけていきます。